

農第D4077号
令和7年2月3日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	大野 (横、明治、春日2、第一西田、西田、中篠座、上篠座)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年1月27日 (第 1 回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
○	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
	農業の後継者がいない
○	耕作条件が悪い農地がある
	畦畔や水路等の管理が負担となっている
○	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

○	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣害被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	27 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	27 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地とする。その区域と住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
○	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
○	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
○	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	
-	

農第D4077号
令和7年2月3日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	下中野 (下中野)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年1月27日 (第 1 回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
○	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
	農業の後継者がいない
○	耕作条件が悪い農地がある
	畦畔や水路等の管理が負担となっている
○	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

○	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣害被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	0.1 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	0.1 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地と間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
○	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
○	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
○	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	
-	

農第D4077号
令和7年2月3日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	西市 (西市)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年1月27日 (第 1 回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
○	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
○	農業の後継者がいない
	耕作条件が悪い農地がある
	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

○	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣害被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	20 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	20 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
○	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
○	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
○	その他(具体的に記入してください)担い手が確保の見込みがない
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農第D4077号
令和7年2月3日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	中津川 (中津川)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年1月27日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
○	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
	担い手等が高齢化している
○	担い手等が確保できていない
○	農業の後継者がいない
○	耕作条件が悪い農地がある
	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
○	その他(用水路等の水漏れがある)

(2) 地域における農業の将来の在り方

○	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣害被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	36 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	36 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地と間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
○	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
○	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
○	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	
-	

農第D4077号
令和7年2月3日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	中保 (中保)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年1月27日 (第 1 回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
○	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
○	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
	農業の後継者がいない
○	耕作条件が悪い農地がある
○	畦畔や水路等の管理が負担となっている
○	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

○	農地の集積・集約化を進める
○	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
○	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
○	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣害被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	28 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	28 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
○	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
○	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
○	担い手は確保されている
	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	
-	

農第D4077号
令和7年2月3日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	下黒谷 (下黒谷)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年1月27日 (第 1 回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

<input type="radio"/>	担い手等が確保されている
<input type="radio"/>	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
<input type="radio"/>	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
	農業の後継者がいない
<input type="radio"/>	耕作条件が悪い農地がある
<input type="radio"/>	畦畔や水路等の管理が負担となっている
<input type="radio"/>	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
<input type="radio"/>	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣害被害防止対策を実施する
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください) 現状維持

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	21 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	21 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
<input type="radio"/>	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
<input type="radio"/>	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
<input type="radio"/>	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
<input type="radio"/>	担い手は確保されている
	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	
-	

農第D4077号
令和7年2月3日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	千歳 (千歳)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年1月27日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

<input type="radio"/>	担い手等が確保されている
<input type="radio"/>	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
<input type="radio"/>	担い手等が高齢化している
<input type="radio"/>	担い手等が確保できていない
<input type="radio"/>	農業の後継者がいない
<input type="radio"/>	耕作条件が悪い農地がある
<input type="radio"/>	畦畔や水路等の管理が負担となっている
<input type="radio"/>	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
<input type="radio"/>	鳥獣の被害が深刻
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

<input type="radio"/>	農地の集積・集約化を進める
<input type="radio"/>	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
<input type="radio"/>	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
<input type="radio"/>	基盤整備事業により耕作条件を改善する
<input type="radio"/>	鳥獣害被害防止対策を実施する
<input type="radio"/>	その他(現状を維持する)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	15 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	15 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地と間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
<input type="radio"/>	既に認定農業者等に集積・集約化されている
<input type="radio"/>	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
<input type="radio"/>	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
<input type="radio"/>	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
<input type="radio"/>	活用の予定はない
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
<input type="radio"/>	基盤整備事業による農地の整備を行う
<input type="radio"/>	基盤整備事業の実施を検討する
<input type="radio"/>	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
<input type="radio"/>	担い手は確保されている
<input type="radio"/>	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	
<input type="radio"/>	-

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	東中 (東中)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年1月27日 (第 1 回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
○	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
	農業の後継者がいない
○	耕作条件が悪い農地がある
	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

○	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣害被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	3 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	3 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地と間にある農地は保全・管理を行う区域とする。
--

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
○	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
○	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
○	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	
-	

農第D4077号
令和7年2月3日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	森山 (森山)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年1月27日 (第 1 回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

<input type="radio"/>	担い手等が確保されている
<input type="radio"/>	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
<input type="radio"/>	担い手等が高齢化している
<input type="radio"/>	担い手等が確保できていない
<input type="radio"/>	農業の後継者がいない
<input type="radio"/>	耕作条件が悪い農地がある
<input type="radio"/>	畦畔や水路等の管理が負担となっている
<input type="radio"/>	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
<input type="radio"/>	鳥獣の被害が深刻
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

<input type="radio"/>	農地の集積・集約化を進める
<input type="radio"/>	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
<input type="radio"/>	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
<input type="radio"/>	基盤整備事業により耕作条件を改善する
<input type="radio"/>	鳥獣害被害防止対策を実施する
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	30 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	30 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地と間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
<input type="radio"/>	既に認定農業者等に集積・集約化されている
<input type="radio"/>	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
<input type="radio"/>	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
<input type="radio"/>	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
<input type="radio"/>	活用の予定はない
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
<input type="radio"/>	基盤整備事業による農地の整備を行う
<input type="radio"/>	基盤整備事業の実施を検討する
<input type="radio"/>	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
<input type="radio"/>	担い手は確保されている
<input type="radio"/>	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	
<input type="radio"/>	-

農第D4077号
令和7年2月3日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	友兼 (友兼)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年1月27日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

<input type="radio"/>	担い手等が確保されている
<input type="radio"/>	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
<input type="radio"/>	担い手等が高齢化している
<input type="radio"/>	担い手等が確保できていない
<input type="radio"/>	農業の後継者がいない
<input type="radio"/>	耕作条件が悪い農地がある
<input type="radio"/>	畦畔や水路等の管理が負担となっている
<input type="radio"/>	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
<input type="radio"/>	鳥獣の被害が深刻
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

<input type="radio"/>	農地の集積・集約化を進める
<input type="radio"/>	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
<input type="radio"/>	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
<input type="radio"/>	基盤整備事業により耕作条件を改善する
<input type="radio"/>	鳥獣害被害防止対策を実施する
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください) 現状維持がいつまでできるか?

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	50 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	50 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
<input type="radio"/>	既に認定農業者等に集積・集約化されている
<input type="radio"/>	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
<input type="radio"/>	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
<input type="radio"/>	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
<input type="radio"/>	活用の予定はない
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
<input type="radio"/>	基盤整備事業による農地の整備を行う
<input type="radio"/>	基盤整備事業の実施を検討する
<input type="radio"/>	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
<input type="radio"/>	担い手は確保されている
<input type="radio"/>	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	
<input type="radio"/>	-

農第D4077号
令和7年2月3日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	中据 (中据)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年1月27日 (第 1 回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
○	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
	農業の後継者がいない
	耕作条件が悪い農地がある
	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
○	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣害被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	66 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	66 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地と間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
○	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を検討する
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
○	その他(具体的に記入してください)活用を検討していく。
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
○	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	
-	

農第D4077号
令和7年2月3日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	下据 (下据)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年1月27日 (第 1 回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
○	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
	農業の後継者がいない
	耕作条件が悪い農地がある
	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

○	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣害被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	51 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	51 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地と間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
○	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を検討する
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
○	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
○	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	
-	

農第D4077号
令和7年2月3日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	西据 (西据)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年1月27日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

<input type="radio"/>	担い手等が確保されている
<input type="radio"/>	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
<input type="radio"/>	担い手等が高齢化している
<input type="radio"/>	担い手等が確保できていない
<input type="radio"/>	農業の後継者がいない
<input type="radio"/>	耕作条件が悪い農地がある
<input type="radio"/>	畦畔や水路等の管理が負担となっている
<input type="radio"/>	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
<input type="radio"/>	鳥獣の被害が深刻
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

<input type="radio"/>	農地の集積・集約化を進める
<input type="radio"/>	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
<input type="radio"/>	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
<input type="radio"/>	基盤整備事業により耕作条件を改善する
<input type="radio"/>	鳥獣害被害防止対策を実施する
<input type="radio"/>	(その他) 現状維持

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	19 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	19 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
<input type="radio"/>	既に認定農業者等に集積・集約化されている
<input type="radio"/>	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
<input type="radio"/>	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
<input type="radio"/>	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
<input type="radio"/>	活用の予定はない
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
<input type="radio"/>	基盤整備事業による農地の整備を行う
<input type="radio"/>	基盤整備事業の実施を検討する
<input type="radio"/>	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
<input type="radio"/>	担い手は確保されている
<input type="radio"/>	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	
<input type="radio"/>	-

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	榎 (榎)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年1月27日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
○	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
	農業の後継者がいない
	耕作条件が悪い農地がある
	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

○	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣害被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	31 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	31 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地と間にある農地は保全・管理を行う区域とする。
--

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
○	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
○	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
○	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	
-	

農第D4077号
令和7年2月3日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	木落 (木落)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年1月27日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

○	担い手等が確保されている
	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
	農業の後継者がいない
	耕作条件が悪い農地がある
	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
○	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣害被害防止対策を実施する
○	その他(具体的に記入してください)集約されている

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	17 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	17 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地と間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
○	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
○	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
○	基盤整備事業の実施を検討する
	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
○	担い手は確保されている
	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	
-	

農第D4077号
令和7年2月3日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	七板 (七板)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年1月27日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
○	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
○	農業の後継者がいない
	耕作条件が悪い農地がある
	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
○	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

○	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣害被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	59 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	59 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地と間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
○	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
○	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
○	基盤整備事業の実施を検討する
	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
○	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	
-	

農第D4077号
令和7年2月3日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	富嶋 (富嶋)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年1月27日 (第 1 回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

○	担い手等が確保されている
	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
	農業の後継者がいない
	耕作条件が悪い農地がある
	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
○	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣害被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	78 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	78 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
○	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
○	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
○	担い手は確保されている
	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	
-	

農第D4077号
令和7年2月3日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	森目 (森目)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年1月27日 (第 1 回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
○	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
	農業の後継者がいない
	耕作条件が悪い農地がある
	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

○	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣害被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	62 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	62 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地と間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
○	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
○	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
○	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	
-	

農第D4077号
令和7年2月3日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	新塚原 (新塚原)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年1月27日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
○	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
	農業の後継者がいない
○	耕作条件が悪い農地がある
	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
○	その他(具体的に記入してください)近傍の所有者農地が入り込んでいるため集約が難しい

(2) 地域における農業の将来の在り方

	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
○	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
○	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣害被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	21 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	21 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地と間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
○	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
○	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
○	基盤整備事業の実施を検討する
	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
○	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	
	-

農第D4077号
令和7年2月3日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	西勝原 (西勝原)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年1月27日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
○	農業の後継者がいない
○	耕作条件が悪い農地がある
○	畦畔や水路等の管理が負担となっている
○	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
○	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
○	鳥獣害被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	2 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	2 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地と間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
○	その他(具体的に記入してください) 取り組みは困難
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
○	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
○	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	
-	

農第D4077号
令和7年2月3日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	松丸 (松丸)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年1月27日 (第 1 回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

○	担い手等が確保されている
	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
	農業の後継者がいない
	耕作条件が悪い農地がある
	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

○	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣害被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	43 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	43 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
○	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
○	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
○	担い手は確保されている
	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	
-	

農第D4077号
令和7年2月3日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	萩ヶ野 (萩ヶ野)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年1月27日 (第 1 回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
○	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
○	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
○	農業の後継者がいない
○	耕作条件が悪い農地がある
○	畦畔や水路等の管理が負担となっている(今後困難となる恐れがある)
○	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
○	鳥獣の被害が深刻
○	一部の農地が休耕となっている。耕作条件が悪く、集約が困難となっている農地の対策が進まない。

(2) 地域における農業の将来の在り方

	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
○	鳥獣害被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	19 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	19 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
○	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
○	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
○	担い手は確保されている
○	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	
-	

農第D4077号
令和7年2月3日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	御領 (御領)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年1月27日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
○	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
○	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
○	農業の後継者がいない
	耕作条件が悪い農地がある
○	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
○	その他(ハクビシン、カラス、アナグマ山際に被害が多いが電気柵で軽減されている)

(2) 地域における農業の将来の在り方

	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣害被害防止対策を実施する
○	その他(具体的に記入してください)その都度現状維持

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	9 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	9 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地と間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
○	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
○	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
○	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	
草刈り、人夫	

農第D4077号
令和7年2月3日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	金山 (金山)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年1月27日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
<input type="radio"/>	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
<input type="radio"/>	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
<input type="radio"/>	農業の後継者がいない
<input type="radio"/>	耕作条件が悪い農地がある
<input type="radio"/>	畦畔や水路等の管理が負担となっている
<input type="radio"/>	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
<input type="radio"/>	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣害被害防止対策を実施する
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください) 現状維持する

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	6 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	6 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
<input type="radio"/>	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
<input type="radio"/>	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
<input type="radio"/>	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
<input type="radio"/>	担い手は確保されている
	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	
-	

農第D4077号
令和7年2月3日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	和泉 (下大納、上大納、下山、板倉、朝日、川合、貝皿、後野)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年1月27日 (第 1 回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
○	農業の後継者がいない
○	耕作条件が悪い農地がある
	畦畔や水路等の管理が負担となっている
○	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
○	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
○	鳥獣害被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	7 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	7 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地と間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
○	その他(具体的に記入してください) 担い手への集積・集約は困難
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
○	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
○	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	
-	